

# 看護学概論(全人的医療基礎講義含む)

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、教養教育センター		
対象学年	1	区分/単位数	講義/2単位
期間	通期		

## ・学修方針(講義概要等)

看護の歴史の変遷、看護の対象、健康と看護、看護活動の場・内容・方法を理解する。全人的医療基礎講義を通じ、医療人となるための幅広い教養を身につけるとともに、他職種との連携の重要性等を学び、看護職の役割、看護の特徴を概観できる。

## ・教育成果(アウトカム)

本科目は、看護学の導入部であり、かつ各看護専門領域への橋渡しの役割を持っている。具体的には、看護の歴史の変遷、看護の対象、健康と看護、看護活動の場・内容・方法、そして看護職の役割、多職種存在と連携の重要性等を学び、看護について今後の学修のイメージをもつことができる。全人的医療の基礎を学ぶことで、その必要性、重要性の理解を深めることができる。また、医療人となるための幅広い教養の必要性、生涯学び続ける姿勢の重要性を理解でき、他者の話を傾聴し、自分の考えを整理し論理的に表現することができようになる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

## ・到達目標(SBO)

- 1.世界の看護の歴史の変遷のポイントをあげることができる。
- 2.日本の看護がどのように発展してきたのかポイントをあげることができる。
- 3.看護の対象としての「人間」とはなにかを述べることができる。
- 4.看護の対象としての人間の成長・発達について述べるができる。
- 5.社会的文化的存在としての「人間」とはなにかを述べるができる。
- 6.家族・集団の特徴を述べることができ、家族・集団への看護の必要性を述べるができる。
- 7.健康とはなにか、健康の持つ意味、健康の諸相に合わせた看護のあり方について述べるができる。
- 8.わが国における保健、医療、福祉とは何かを述べるができる。
- 9.看護実践を支える看護理論を知り理論家による特徴を述べるができる。
- 10.医療・看護の倫理の歴史的経緯と現代の課題を知ることができる。
- 11.看護職の倫理綱領(ICN、JCN)の概要を知ることができる。
- 12.法の概念と看護をめぐる法と制度の枠組みを述べるができる。
- 13.看護職の法的側面(保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保に関する法律)を理解できる。
- 14.看護職の資格と養成制度について説明できる。
- 15.看護職がどのような場で活躍しているのか、継続教育はどのようになされているのか説明できる。
- 16.わが国の看護職の養成制度、継続教育の課題をあげることができる。
- 17.看護業務基準と看護職の倫理綱領に基づいた看護実践とは何かを述べるができる。
- 18.医療安全と医療の質保障について知り、安全なケアについて説明できる。
- 19.病院、介護施設での看護の違いについて自分の体験を通して述べるができる。
- 20.事例を通して、保健医療福祉のチームにおける看護の役割を調べることができる。
- 21.看護活動の場の広がり多様化に伴い拡大している看護の役割について述べるができる。
- 22.建学の精神を理解し、全人的医療人としての自己イメージを具体的に形成することができる。
- 23.エンドオブライフの医療的介入の問題点を列挙できる。
- 24.人生の最終段階を生きる患者とその家族のQOLに配慮するようになる。
- 25.医療におけるリスクベネフィットを説明できる。
- 26.薬害が発生する経緯を理解し、医療者の責任を説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/18 木 1限	【授業内容】看護の歴史の変遷 【関連するSBO】1、2 【事前学修：120分】教P10～20を読み、わからない部分を調べる 【事後学修：120分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
4/25 木 4限	【授業内容】看護の対象としての「人間」とは 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修：120分】教P78～105を読む 【事後学修：120分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
5/9 木 4限	【授業内容】健康とは何か 保健、医療、福祉の概念 【関連するSBO】7、8 【事前学修：120分】WHOの健康の定義、憲法第25条1項について調べる 【事後学修：60分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
5/16 木 4限	【授業内容】看護実践を支える看護の考え方：看護理論① (ナイチンゲール・ヘンダーソン) ・患者の生命力の消耗を最小にするように整えることについて述べるができる ・ヘンダーソンによる看護活動の基本の14の構成要素について、その意味を述べるができる 【関連するSBO】9 【事前学修：120分】ナイチンゲールについて、既存資料から自分なりのナイチンゲール像をまとめる 【事後学修：180分】事後レポート(ナイチンゲールの著作から自分の考える看護を述べるまとめる。)を期日までにWebclassより提出。	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
5/21 火 4限	【授業内容】看護実践を支える看護の考え方：看護理論② (ペプロウ、ウィーデンバック・オーランド、トラベルビー) ・患者-看護師関係の発展段階およびそれを発展させる効果的コミュニケーションについてポイントをあげることができる ・ウィーデンバック・オーランドの理論の特徴を述べるができる ・概念モデルを示した理論：ロイ、オレム、ベナーの看護論の特徴を述べるができる。 【関連するSBO】9 【事前学修：120分】教P31～38要約およびP354～359資料1 主要な看護理論家の看護概念を読む 【事後学修：120分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
5/28 火 4限	【授業内容】医療看護における倫理：医の倫理、看護職の倫理 【関連するSBO】10、11 【事前学修：60分】教P186～191を読む 【事後学修：60分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
5/30 木 4限	【授業内容】看護における法的側面 【関連するSBO】12、13 【事前学修：120分】教P150～154と、P247～256を読んでくる。「看護師等の人材確保の促進に関する法律」はどのような法律かを調べる 【事後学修：120分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
6/13 木 4限	【授業内容】日本の看護職の現状-看護職の資格と養成制度、看護職の就業状況と継続教育 【関連するSBO】14、15、16 【事前学修：120分】教P33～35およびシラバスに記載されている看護学部のDP(学位授与方針)を読む 【事後学修：240分】講義資料の復習と、教P154～183を通読したうえで、事後レポートに取り組み、期日までにWebclassより提出する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
6/21 金 4限	【授業内容】全人的医療基礎講義①学長講義 創立者三田俊次郎が掲げた理想の医療、120年余の本学の歩み、そして6年間の学びのための心構えについて学ぶ 【関連するSBO】22 【事前学修：120分】シラバスに記載されている学則第1条第1項を読み、誠の人間について自分なりの考えをまとめる 【事後学修：120分】事後レポートをまとめ、期日までにWebclassから提出する	小笠原 邦昭 学長 教養教育センター 中島 理 教授

6/28 金 1限	【授業内容】看護職に対する社会の期待と責任① 看護職の倫理 【関連するSBO】17 【事前学修:120分】5月28日の講義資料を復習しておく。臨地実習での看護学生としての倫理について自分の考えをまとめる 【事後学修:120分】講義資料を復習する。日本看護協会「看護業務基準」と「看護職の倫理綱領」全文を読む。	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
7/16 火 3限	【授業内容】看護職に対する社会の期待と責任② 医療安全 【関連するSBO】18 【事前学修:60分】教292～303を読む 【事後学修:60分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
9/27 金 4限	【授業内容】全人的医療基礎講義②長寿時代のエンドオブライフ・ケア 人生の最終段階における医療・ケアの意思決定支援および医療的介入に関する諸問題を学ぶ事で医療従事者に求められる死生観について学ぶ 【関連するSBO】23、24、25 【事前学修:120分】「エンドオブライフ・ケア」という用語について調べ、自分なりに考察しておく 【事後学修:120分】事後レポートをまとめ、期日までにWebclassから提出する	教養教育センター 会田 薫子 客員教授 中島 理 教授
10/30 水 1限	【授業内容】看護の役割と機能①(ワーク)提示された事例での、地域包括ケアシステムの中での看護の継続性と連携を学ぶ。個々で課題に取り組むがインターネット検索や学生同士で教え合う時間を設ける。 【関連するSBO】19、20、21 【事前学修:120分】基礎看護学実習で出会った保健医療福祉チームの他職種の名称とその役割をふりかえる。6月27日の講義資料を再度読む 【事後学修:180分】個人課題へ取り組む	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
11/6 水 1限	【授業内容】看護の機能と役割②(ワーク)提示された事例を用いて、地域包括ケアシステムの中での看護の継続性と連携を学ぶ。グループごとに提示された課題に取り組むが、インターネット検索や学生同士で教え合う時間を設ける。また、発表会で内容を共有することにより、全体及び個々の理解を深める。 【関連するSBO】19、20、21 【事前学修:120分】個人ワークに取り組むために、提示された事例の療養の場の特徴を調べる 【事後学修:180分】本講義内容全般を振り返る	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
12/6 金 4限	【授業内容】全人的医療基礎講義③ 薬害を考える-いのちが守られる社会の実現のために- 薬害エイズ訴訟原告としての実体験に基づき、「いのちを守る社会」を実現するための医療者の責任を学ぶ 【関連するSBO】26 【事前学修:120分】薬害エイズ事件について調べる 【事後学修:120分】事後レポートをまとめ、期日までにWebclassから提出する	教養教育センター 川田 龍平 客員教授 中島 理 教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 基礎看護学[1]看護学概論第17版	茂野香おる	医学書院	2020
参	長寿時代の医療・ケア—エンドオブライフの論理と倫理—	会田薫子	筑摩書房	2019
参	延命医療と臨床現場—人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学—	会田薫子	東京大学出版会	2011
参	ACPの考え方と実践—エンドオブライフ・ケアの臨床倫理—	会田薫子	東京大学出版会	2024
参	龍平:生き抜く勇気を -いのちを守る世界をつくるために-	川田龍平	高文研	2022
参	医療格差	川田龍平	角川書店	2011
推	なぜこの国は被害者を守らないのか	川田龍平	PHP	2013
推	沈みゆく大国アメリカ<逃げ切れ!日本の医療>	堤未果	集英社	2015
推	人はなぜ、同じ過ちを繰り返すのか?	佐治晴夫	清流出版	2012

・成績評価方法

<p>【総括的評価】 定期試験(60%)定期試験は前期のみ実施する。全人的医療基礎講義事後レポート、前期の2つの小レポート、個人ワークの事後レポート(40%) 提出されたレポートは「自分の考えを整理し論理的に表現すること」を重視して評価する。</p> <p>【形成的評価】 レポートの書き方、Webclassからの提出の仕方、レポート課題内容等の質問を随時受け付け、助言する。</p>
--

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出されたレポートについては、全体に伝えるべき内容は次の授業で話題とする。  
レポートについての質問・疑問はWebClassのメールを通じて解答する。

【その他】

全人的医療とは、病のみを対象とした医療ではなく、患者の人格を中心にして身体、精神、心理、社会など諸側面から総合的、包括的に適切な医療を実践することを意味する。本学は、建学の精神のもと豊かな人間性を育み、医学・歯学・薬学・看護学を密接に連携させて理解を深めることによって一層の全人的医療を実践できる医療人の育成を促進している。

そこで、本講義では、専門職連携教育(Inter Professional Education)の一環として、医学・歯学・薬学・看護学を志す学生に共通して求められる他分野への連携理解を深められるように医・歯・薬・看護学部の学生が合同で多方面の分野について学修する。また、誠の医療人を目指す学生として、人格を陶冶するための幅広い教養を身につけるとともに、各専門領域をより広い視野で多角的に理解するための柔軟な思考力、深い洞察力を育む。傾聴した内容を整理し自己の考えをまとめるレポートを作成し、論理的な思考力と表現力の向上をはかる。

なお、本講義は「いわて高等教育コンソーシアム」の加盟大学(岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学、富士大学、一関工業高等専門学校、放送大学)の希望者に講義を配信し、県内学生に対する教養教育・社会教育の一助とする。

※授業に関する連絡、授業に必要な資料の提示、小レポートの提出はWebClassを活用する。WebClassの使用説明は入学直後に行われるので、授業開始前にWebClassの使用方法(メール送受信、課題の提出方法等)を習得しておくこと。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	デスクトップパソコン(Mate J タイプML - Y世代 PC-MUT29LZCCSY)	1	講義資料の作成等
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影